

保育

先生の確保を

問 須恵町では、平成32年度に掲げていた目標人口2万8千人を本年11月10日に達成しました。町としては喜ばしいことですが、人口増に伴い、保育園・幼稚園の対応は大変になるのではないのでしょうか。

答 安河内教育長
町立の幼稚園は、それぞれ35人の定員数があり、それを超えた場合は抽選になります。希望の園の抽選にもれ

幼稚園の3歳児定員105名に対して入園希望者が130名と、25名の方が抽選もれで入園出来ない状況です。3歳児の教育はとても大切です。抽選もれを理由に、3歳児の入園希望者の入園を拒むことのないような配慮を。

町の方策として、本年度から定員数を25人から35人に増やしたことに加え、私立の認定こども園「明道館」が11月に開園したことにより、受け入れ体制は以前に比べ整ってきたと考えます。

全国的な傾向として、賃金の問題だけではなく、保育の大変さや責任の重さ、事故への不安等から、保育士・幼稚園教諭は「なり手不足」の状況にあります。先生がいなければ児童の受け入れができないため、本年度から常勤の臨時職員の賃金を月額7,000円から8,200円に引き上げるなど、人材確保のため検討・協議を行っています。



南幼稚園の3歳児

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。

答弁中の中嶋町長



田原 重美 議員

超えた場合は抽選になります。希望の園の抽選にもれ、他の園に空きがあれば情報提供を行っています。また、申し込みをした園での待機や、私立幼稚園の選択について説明を行っています。

子育て

国の動向を見て

問 電子母子手帳は様々な機能を持ちます。自治体では、予防接種や乳幼児健診の通知機能の使用で受診率向上を期待、子どもの成長段階に応じて保護者の対策を絞り込みイベント情報などの発信。

保護者では、予防接種の事前通知で日程管理が簡単に、身長や体重の入力だけで子どもの発育曲線を自動でグラフ化、ス



マホで成長記録を写真でいつでも記録でき家族で共有が可能です。また、自治体から子育て情報などをアプリで簡単に受信などのメリットがあり、導入済み予定の自治体は100以上です。導入のお考えは。

答 小林 健康福祉課理事
電子母子手帳は、紙の母子手帳と並行して利用していただくサービスとして捉えています。通常の手渡し



今村 桂子 議員

通常の手渡し

健康

健康増進計画をもとに

による母子手帳の発行や健診・予防接種の案内等の通知発行は必要ですので、現在のところ導入は考えていません。

答 中嶋町長
国がその方向でいけば考えたいと思います。

問

須恵町の平均寿命と健康寿命の差は、男性1・11年・女性3・50年。介護保険利用者の多くが80歳以上です。健康寿命を延ばし、*フレイルになるのを防ぐため、より早い段階から取り組みを始めることが重要です。

答 中嶋町長
健康寿命・健康長寿を行政が叫んでも、健康に関しては個人の問題であり、個人がどのように意識改革するかが重要です。行政は、その莫大な範疇の事業を関係各課で選別・実施しており、きっかけづくりになることを期待しています。

団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え、運動・栄養、社会参加などにより、60〜74歳のヤングシニアの健康づくりに重点を置いた取り組みが必要では。

答 小林 健康福祉課理事
食からの健康づくりについては県内でも高い評価をいただいています。健康増進計画のアンケートをもとに、今の事業を見直し、さらに充実させていきたいと思っています。

*「虚弱」を意味し、高齢になって筋力や活力が衰えた段階のこと。

一／般／質／問

ここが聞きたい！

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。